



子ども・保護者・保育者が「育つ幼稚園」

園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 2023年3月9日

『育つ幼稚園』

修了証書授与式に臨む！



啓蟄を迎え、一段と春めいてまいりました。

さて、3月15日(水)、年長児の修了証書授与式が開催されます。

今、その練習をアリーナの舞台上で重ねています。まず、一人一人、

担任から名前を呼ばれて「はい！」と大きな声で返事をします。次に、正面に進み、将来の夢を話します。

「ぼくは大きくなったら世界一の科学者になりたいです！」「わたしは大きくなったら警察官になりたいです！」どの子ども自分の夢を力いっぱい宣言するので、初めは恥ずかしくてもじもじしていた子ども、練習を重ねるにつれて自信が出てきて落ち着いてできるようになってきました。

この活動を通して、子どもたちに少しずつ卒園するという心の準備ができていきます。と同時に、私たち教職員も、巣立っていく子どもたちとのわかれを惜しみながら今を大切に過ごしています。



幼児期は、4歳を中心として人格形成の基礎を培う重要な時期にあります。自分と

は違う、他者の気持ちを理解したり、他者の存在(視線)が気になりだしたり、と同時に自分を意識できるようになります。自我の芽生え、メタ認知の萌芽ともいわれ、子どもの世界は「ことば」を通して飛躍的に広がり、思考力もぐんと伸びます。

このときに大切なことは、「感情」です。「楽しい」「悔しい」「哀しい」などの感情に伴ったこれらの経験は、子どもたちにとって大きな「学び」となります。感情とともに子どもの内面に「学び」となって根づくのです。なぜ、子どもたちは幼稚園が大好きなのでしょう。それは、いつもいっしょにいてくれる「せんせい」や「ともだち」がいるからです。楽しくて大笑いしたとき、悔しくて大泣きしたとき、そばでそのことを理解してくれる存在がいるのですから。だから、子どもたちは日々、新しい世界を広げていけるのですね。



2月24日(金)、アリーナで年長さんのおわかれ会が開催されました。第一部の「マジックショー」ではまつだこうきさんのテンポのよい進行で始まり、夢中であつという間でした。第二部はスライドショーです。入園式当時の幼ない姿が映し出されると保護者の方々も子どもたちもじっと見入っていました。誰もがこの3年間で大きな成長を遂げたことを実感できた瞬間でした。中には目を潤ませる子どもの姿も見られ、卒園に向けての心の準備がまた一つできました。最後に保護者代表の方から、幼稚園や先生へ有難い言葉をいただき、感無量でした。この日のために、丁寧に心を込めてご準備いただいた保護者会役員の皆さまには、心から感謝申し上げます。本園の子どもたちは幸せです。



保護者会役員の皆様

～ 一年間ありがとうございました。～

夏祭り、運動会、生活発表会、おわかれ会など、行事にはいつも、陰に日向になってご尽力いただいたのが、東上直会長様をはじめ、保護者会役員の皆さま、そして、クラス委員の皆さまでした。

誰もがお忙しい中、子どもが喜ぶためなら、幼稚園のためならと、惜しみないご理解とご協力をお寄せいただき、教職員一同、いつも励みにして子どもたちに向き合うことができました。

改めまして、心からお礼申し上げます。

保護者会と幼稚園との関係では、これまでを引き継ぎながらも、少しずつ改善も図ってきました。

園としましても、これまでに固執することなく、よりよい「保護者会」をともに創り上げていきたいとの認識にたっております。

令和4年度を無事に終えることができますことに、改めまして感謝申し上げますとともに、次年度も引き続き、よろしく願いいたします。

幼児期の3年間は、夢のように過ぎていきますが、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期ともいわれています。子どもが子どもとして、安心してのびのびと過ごせる環境、それが幼稚園であり、家庭でありたいと思います。

これからも「共に育てるパートナー」として、また、子どもを真ん中に、保育者、保護者、幼稚園が、より共に育っていけるよう、よろしく願いいたします。